

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	八雲保育園	施設種別	保育所 (旧体系 : )
評価機関名	社団法人京都府保育協会		

平成 24 年 7 月 26 日

総 評	<p>八雲保育園は昭和 41 年に開設された、由良川沿いにある自然環境に恵まれた保育園です。</p> <p>保育方針は、「『明るく たくましく』」をスローガンに掲げ、豊かな情緒と正しい躰を身につけさせ、心身ともに健康で明るい子どもづくりを基本とする。」としています。</p> <p>保育目標は「つねに腰骨をたてる人間に」「あいさつは、自分から先に」「返事はハイとはっきりしよう」「履物を揃えよう」「椅子を入れよう」を掲げ、日々の保育に生かしています。</p> <p>保育士は園児の手本として、上記目標を率先して実践し、自主的に子どもたちが保育目標を行えるように努めています。</p> <p>日々の保育内容は、保育士が工夫をこらした様々なコーナーや、雲梯やマットなどで体操あそびが出来るようにしています。「静」「動」のバランスを意識した心地よい生活リズムを作り、「主体的」「意欲的」に遊びこみ、それを発展させていけるよう配慮しています。また、遊んだ後の整理整頓も園児自身が考えて片付けられるような環境構成が見られます。</p> <p>毎日夕方の職員ミーティングや全園児との連絡帳交換により、園児の状態の把握に努め、園全体で協同して子どもを見守る体制を整備するなど、管理者を中心として、職員間の連携も充実しています。</p> <p>園児と保護者、職員とのよりよい協力関係が家庭を支援し、園全体が温かく家庭的な信頼関係で結ばれています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士は、毎朝、丁寧に子どもたちがあそぶ環境を準備しています。また 2～3 ヶ月の間隔で各部屋にコーナーを設定し、子どもたちが好きな場所であそべるよう配慮しています。各コーナーは定められた担当者が保育にあたり、それらの内容を記録し、子どもの成長を把握するよう努めています。</li> <li>・ 小学校との連携を深める取り組み「つながり学習」では、年間カリキュラムを作成し、毎月在園児と小学生の交流を実施し、円滑な就学に努めています。また、子育て支援ステーション事業として、園庭開放や親子教室の実施、地域の講演会開催など、施設機能を地域に還元しています。</li> <li>・ 日々の保護者からの要望や、子どもの様子は「連絡簿」に記入し職員間で情報が共有されています。また、毎日夕方にミーティングを実施し、園全体で一人ひとりの子どもを見守れるように努めています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園外研修だけでなく、専門講師による継続した園内研修を実施しています。今後は、研修レポートを作成し、その評価・分析を次の研修計画に反映されると良いでしょう。</li> <li>・ 行政からの通達文書など必要に応じて職員に周知しています。今後は、通達文書だけでなく遵守の対象となる法令を含め、職員間で閲覧出来るようリスト化するなど工夫されると良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	八雲保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育教会
訪問調査日	2012年7月26日（木）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育の理念、基本方針・保育目標は、園内や園のパンフレットに明示されています。職員には、職員会議等で周知しています。

・スムーズな就学を目指した小学校との連携カリキュラム「つながり学習」を毎月実施しており、その内容や、園の方針を掲載したお便りを地域に配布し、その理解に努めています。

・保育課程が編成され、それに基づいて年間指導計画、短期指導計画を作成しています。短期指導計画は、定期的に評価・反省を実施し、次の計画にその内容を反映させています。今後は、保育課程や指導計画の内容を保護者等に理解してもらえるよう工夫されるとより良いでしょう。

・園の方針が、管理者により園全体にしっかりと浸透しています。保育の内容や、園の運営に関するマニュアル類を綴った職員マニュアルを作成し、全職員に配布しています。

・行政からの通達文書など必要に応じて職員に周知しています。今後は、通達文書だけでなく遵守の対象となる法令を含め、職員間で閲覧出来るようリスト化するなど工夫されると良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

・少子高齢化の進む地域性もあり、長期的な、人員体制を含む具体的な運営計画の作成は難しく、毎年、その状況に応じて作成、実施しています。人材に関する基本的な考え方は、園で定めた倫理綱領に明示されています。

・職員の勤続年数は長く、その就労状況や意向を把握するよう努めています。福利厚生センターに加入しています。

・園外研修だけでなく、専門講師による継続した園内研修を実施しています。園内研修では、実際の保育を職員間で確認し合うなど、園の方針に沿った保育が職員間で共有されるよう取り組んでいます。今後は、研修レポートを作成し、その評価・分析を次の研修計画に反映されると良いでしょう。

・小学校との連携を深める取り組み「つながり学習」では、年間カリキュラムを作成し、毎月、在園児と小学生の交流を実施しています。また、子育て支援ステーション事業として、園庭開放や親子教室の実施、地域の講演会開催など、施設機能を地域に還元しています。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A
[自由記述欄]				
<p>・苦情解決の仕組みが整備され、保護者にその内容を周知しています。また、年2回ほど保護者全員にアンケートを実施し、それに対する園の対応内容を文書で配布しています。</p> <p>・2回目の第三者評価受診です。職員は、第三者評価の項目に沿って自己評価を実施しており、職員会議でその評価内容について話し合い、その結果と課題を共有しています。</p> <p>・日々の保護者からの要望や、子どもの様子は記録され、職員間で情報が共有されています。また、毎日夕方にミーティングを実施し、園全体で一人ひとりの子どもを見守ることができるように努めています。</p> <p>・利用希望者に対し、随時園見学を受け付けている他に、ホームページやパンフレット、行政の広報誌などを通じて、園の情報を提供しています。</p> <p>・転園の事例がありませんが、転園先から要望があった時のために、保育の記録等の引継ぎ文書を定めています。</p>				

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがかわるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

・健康管理マニュアルが整備され、子どもの健康状態のチェックに努めています。月のうち10日間について、歯磨きや早寝早起き、食事・排泄を記録し、生活習慣が見通しを持って整えられるように取り組んでいます。

・園児が、園内にある畑で種や苗から季節の野菜を育て、収穫したきゅうりやオクラなどの食材を、クッキング保育などで食べる工夫をしています。おやつは手づくりおやつを中心に提供しています。

・年1回の給食参観において、給食試食会を実施しています。

・乳児の午睡中SIDSの予防に努めていますが、今後は確認時間を年齢に合わせて設定されるとな良いでしょう。

・各部屋は衛生面に配慮しており、イオン空気清浄機や加湿器などの設置により清潔に保たれています。園内には花を飾ったり、子どもたちが常に見える場所に季節の野菜を育てたり、自然や季節感を得られるよう配慮しています。

・保育士は、毎朝、丁寧に子どもたちがあそぶ環境を準備しています。また2~3か月の間隔で各部屋にコーナーを設定し、子どもたちが好きな場所であそべるよう配慮しています。各コーナーは定められた担当者が保育にあたり、それらの内容を記録し、子どもの成長を把握するよう努めています。

・4歳児より漢字と触れ合い、読めるように工夫し、名前も漢字で表記しています。

・障害児との関わりを大切に考えており、発達障害等に関する専門家の助言指導を受け、研修や日々の計画を持って取り組んでいます。

#### IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

#### [自由記述欄]

・保護者との日常的な情報交換を連絡帳(全園児対象)で行うと共に、個人面談を行っています。また、年2回のクラス懇談会や保護者の保育参加などを実施しており、共通理解の機会を設けています。

・虐待に関して、早期発見・早期対応を関係機関との連携をもとに実施出来るよう整備しています。

・一時保育を実施しており、通常保育の子どもたちとの交流を積極的に図っています。

#### IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

#### [自由記述欄]

・衛生管理マニュアル、食中毒予防・対応マニュアルを整備しています。

・毎月の遊具安全点検の実施や、ヒヤリハット報告を作成し、事故防止に努めています。職員の事故防止意識を高めるよう安全点検チェックリストを各保育室に掲示しています。

・事故や火災発生時のマニュアルを整備しています。由良川沿いにある保育園として、特に水害対策については、関係機関等との連携を含め、その対策を充実させています。